



買物が怖い

お米が高い

商売が赤字

物価高騰から県民の暮らし、営業、農業 を守る補正予算を知事に要望しました

深刻な物価高騰とアメリカによる関税強化の影響から県民の命と暮らしを守るため、5月8日、知事に補正予算を編成するとともに、国へも対策強化を求めるよう要望しました。

帝国データバンクによると、4月の飲食品の値上げは4225品目。今年だけで1万品目を超える値上げです。一方、実質賃金は3年連続マイナスで、賃上げが物価上昇に追いついていません。

米国・トランプ大統領が突然打ち出した「トランプ関税」は、国際ルールや日米貿易協定を一方向的に破るものです。経済に大きな影響を与え、中小企業の倒産防止や雇用などへの対策が急がれます。

県が直ちに行なうこと

- ◆中小企業への賃上げ直接支援
- ◆学校給食無償化第2子まで拡充
- ◆私立高校の施設整備費年収350万円世帯まで全額免除
- ◆国保料（税）、後期高齢者医療保険料引き下げ。
18歳以下の均等割全額免除
- ◆コメの流通状況の調査・研究と対策
- ◆バスなど高齢者の移動に伴う料金の負担軽減

県が国に求めること

- ◆消費税の廃止めざし、緊急に5%へ減税
- ◆備蓄米の活用を含め、コメの供給と価格安定に政府が責任をもつ
- ◆備蓄米の販売方法見直し、米穀店、スーパー等に届く仕組みづくり、子ども食堂やフードバンクへの無償交付を大幅増

日本共産党

Japanese
Communist
Party

→ 申入れ書全文



日本共産党千葉県議会だより
2025年5月9日号 ☎043(223)2544



要望は各部局に伝える。体感としてスーパーのコメの価格は去年の倍程度だ。(副知事)